

△モードで育達田舎町



御船町教育フォーラム

すてきなまち御船町 ～こうなりたいな、10年後～

町カルチャーセンターで11月10日、教育フォーラムが開催され約320人が参加しました。町内の園児から大学生までが一堂に集まり、歌や劇などの舞台発表や平成音大の大学生と各小中学校の代表児童・生徒によるパネルディスカッションが繰り広げられました。ここで、子どもたちが考える『10年後の御船町』について紹介します。



笑顔でいっぱいの町

御船小6年 吉村志帆さん

10年後、町のみんなが「笑顔でいっぱい」になつていたらしいなと考えて、次の3つを考えてみました。1つ目は「あいさつの町」、お互いにあいさつをしあうと笑顔になります。2つ目「ふれあう施設のある町」、子どもからお年寄りまでが立ち寄つてふれあう場所があると笑顔が増えます。3つ目「季節を感じる行事や場所を作つたら人が集まり、季節を感じる行事や場所を作つたら人が集まり、笑顔があふれる町になると思います。10年後、私は22歳です。笑顔あふれる町にするために、今まで通りあいさつを心がけたり、近所や町の人とふれあつたり、行事にできるだけ参加したり、必要があれば募金を呼びかけたりしたいと思っています。

「自然」と「ふるさとの文化」を大切に

七瀧中央小6年 高橋明日香さん

御船町が大好きです。この町は私が生まれ、私を成長させてくれ、大切なことを学ばせてくれる町です。子どもたちに素敵な未来をプレゼントしてくれるかけがえのないふるさとです。この町が10年後もこれまでのよう、本当の豊かさを考えることができる町でいてほしいと願っています。本当の豊かさを考えた町でいることを望み、次の2点のよくな町の姿を考えました。1つ目は「自然を大切にする御船町」です。2つ目は、「ふるさとの文化を大切にする御船町」です。10年後の素敵な町づくりのために、もっともっとふるさとのことを学び、よさを発信し、自分にできることを考え、行動できる人間になりたいです。町に住む先輩の気持ちに負けないように勉強して成長していきたいです。

誰にでも居心地の良い美しい町

木倉小6年 川崎玲緒奈さん

10年後の町を今よりも明るく誰にも居心地のよい美しい町にしたいと思っています。総合的な学習の時間にグリーンヒル御船のお年寄りの方と触れ合う時間がありました。高齢化社会を迎えるようとしている今日、町に住むお年寄りや体の不自由な方にとって、今の町は本当に住みやすい町でしょうか?「健康いきいき御船町」をスローガンに、町に住む誰もがいきいきと笑顔あふれる明るい町にしたいです。私たちに今できること、まずゴミを捨てない、見かけたらゴミを拾おうとする心を持つことが大切です。見た目だけでなく、中身(人の心)も美しくなるよう町民一人一人が心がけていけたら本当に美しい町、御船町ができると思います。

地域の資源・人材・特徴を生かす

小坂小6年 南部真歩さん

10年後の町は、「ゴミのないきれいな町」、「体の不自由な人たちが住みやすい町」です。1つ目の「ゴミのない町」は、小坂小で環境委員会が中心になって「ゴミの量を減らそう」とポスターを立て、呼びかけています。町も清掃活動をしたり、町全体にポスターなどをはつて呼びかけをしたらいいと思います。2つ目の「体の不自由な人たちが住みやすい町」では、町内にはスロープやエレベーター、点字ブロックなどが多く、車いすや目の不自由な方にとって住みにくくと思います。スロープやエレベーター、点字ブロックを設置して改善したらいいと思います。また、自分たちにできる気づいたことにはすばやく行動して、体の不自由な方の住みやすい町にしたいです。

森林でいっぱいの優しい環境に

高木小6年 佐々木千夏さん

10年後の町を森林が多い町にしたいと思いました。なぜかというと、森林は目に良いし、環境にも優しいからです。各学校で森林を植えたり、使っている土地を利用して森林をたくさん植えていけば森林は増えると思います。もう一つは、町がきれいな花に包まれ、ゴミのない町になつているといいなあと思います。花を見ていると気持ちが安らぎ、もつとよい気持ちになります。高木小では学期に1回クリーン作戦を行なっています。町でもこのような行事に取り組むことできれいな町になると思います。10年後の町が明るく、よい環境になるように皆さんで森林を増やしていきましょう。

自然と共生する週ごしやすい町

御船中3年 福永将太郎さん

登下校や遊びに行く時に使用する国道445号線とシンボルロード、様々な施設が全てあって私の大好きな町です。またそれだけでなく、人とのつながりや友情があるのが町の魅力です。たくさんの人が訪れてくる町になるように、様々な建築物が作られるといふと思います。その中心になるのが、現在建設中の恐竜博物館。たくさん的人が訪れるからです。昔の町には田畠がたくさんありましたが、今はお店をつくるためなどに田畠がこわさされています。これからも続いていると、町の良さがなくなってしまいます。これからも続けていくと、町の良さがなくなってしまいます。2つ目の理由は、人口が少なくなっています。これからもつくっていくと、町の良さがなくなってしまいます。2つ目の理由は、人口が少なくなっています。恐竜博物館や自然の豊かさなど御船町の良いところをもっとアピールして町を好きになつてもらえたなら、人口が減る心配もないと思います。新しいものにつくるだけでなく、昔から残る町の良さを生かしながら町づくりをしていけば、10年後の町は良い町になつているのではないかと思います。

昔から残る町の良さを生かして

滝尾小6年 畑田優菜さん

現在、町では町の活性化に向けて大規模な計画が進行中です。大きな道が通り、大型店舗が誘致され町も住みやすくなっています。反面、昔ながらの小さな商店が危機的な状況にあるのも事実です。私の祖父母は通り沿いで、クリーニング店を営んでいますが、客足が減り、今後のことを心配しています。町の活性化は外部からの観光客だけでなく、住民の満足度を同時に増やすことが大切だと考えます。地域の資源、人材、特徴を生かし町が活性化し、利益を地元に還元できるサイクルが必要です。住民や出資者にとっては町はふるさとであり、癒され安心でいる場所であり、同時にやりたい仕事で生計を立ててほしとあります。